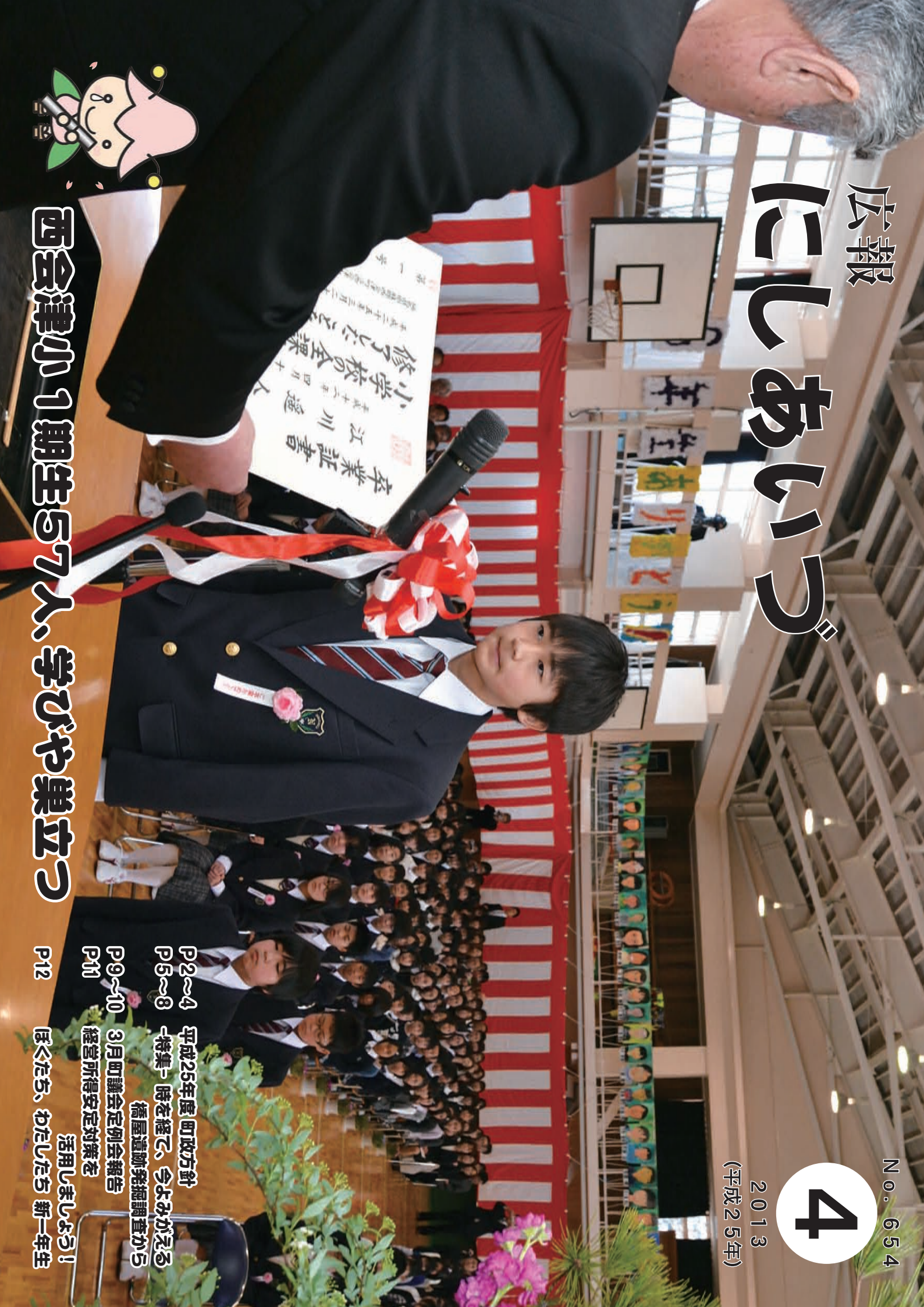


にしあいつ

4

2013

(平成25年)



卒業証書
江川 遥
平成25年 四月十日
小学校の全課
修了した全課
第一号
平成25年三月二十二日
西会津町立西会津小学校

西会津小 1期生57人、学びや集立つ

- P2~4 平成25年度 町政方針
- P5~8 -特集- 時を経て、今よみがえる
橋屋遺跡発掘調査から
- P9~10 3月町議会定例会報告
経営所得安定対策を
活用しましょう!
- P11 ぼくたち、わたしたち 新一年生
- P12



町 政 方 針

「まちづくり」の基本的な考え

東

日本大震災から2年がたち、わが国では、東日本の復旧・復興、東京電力・福島第一原子力発電所事故による風評被害の払拭など、さらなる復興・再生のための問題解決が求められています。

町では、このような中、平成25年度を町再生の年と位置付け、町総合計画の『みんなの声が響くまち』を基本に、「こころ豊かな人を育むまちづくり」「豊かで魅力あるまちづくり」「人と自然にやさしいまちづくり」を三本の柱とし、さらに今年度は「住んでみたい、行ってみたい町へ」をテーマに、定住人口、交流人口の拡大に向け、各種事業を総合的に推進していきます。

未

こころ豊かな人を育む
— 教育の振興・人材育成

来を担う子どもの育成で、安心して子を産み育てられるよう、町の子育て支援の拠点となる保育施設整備に向け、基本構想の策定作業を進めます。具体的にはニーズを調査し、基本コンセプトや設置場所などについて検討していきます。また、2歳になるまで家庭で育児を行う保護者への「乳幼児家庭子育て応援金」の支給、野沢保育所の駐車場整備など、子

育て支援の一層の充実を図ります。

学

学校教育の充実・強化では、平成25、26年度の2カ年で西会津小学校の新校舎を整備する計画です。

新校舎は、「安全・安心」「小中連携教育の推進」「環境との調和」の基本方針で整備する考えで、木材をふんだんに取り入れ温かみのある校舎として整備するほか、太陽光発電設備やバイオマス燃料ボイラーの設置なども併せて行うことにしています。

将

来を担う人材を育成するため、町では、若者まちづくりプロジェクト会議を開催し、町活性化の検討を行っています。平成25年度は、企画したアイデアを実践に移し、若い皆さんによる町づくりにつなげていく考えです。また、生涯学習の充実・強化、スポーツ・芸術活動を推進していきます。

豊かで魅力あるまちづくり
— 地域経済の活性化

風

評被害を克服するため、町のイメージキャラクター「こゆりちゃん」を使ってイメージアップを図るとともに、町内産品への活用などで地域活性化に結び付けていきます。

農

林業の振興では、集落や地域単位で「人・農地プラン」の作成に取り組み、高齢化や担い手の問題、経営状況を分析し、地区ごとに課題や今後の方向性を検討し、実践できる計画策定に取り組んでいきます。

また引き続き、農林産物の加工研修による人材育成のほか、加工施設の整備に対する事業費の一部補助を行っていきます。さらに、加工品の販路拡大に向けて、平成25年度は新たに、県内外の飲食業者に対する農地や施設の視察、試食会や生産者との意見交換などの交流会を開催する考えです。

このほか、農地の適正管理と有効活用を推進し、森林整備と間伐材の有効活用では、新規に木材搬出費支援事業を実施し、森林資源の活用を推進していきます。

有害鳥獣対策では、町鳥獣被害対策実施隊の積極的な活動と、未実施集落での環境点検により総合的な被害防止対策を行っていきます。

商

工業への支援では、企業等が実施する研修や資格取得費用などを町が助成する企業支援事業補助金により、町内企業の経営安定化に向け、支援を行っていきます。



『住んでみたい、行ってみたい町へ』 定住促進、交流人口拡大を総合的に推進

商業団地A区画の整備では、施設整備に向けた設計を行うほか、入居者等の募集について検討していきます。

さらに町の中心市街地である野沢地区への誘客拡大、商店街の活性化、地域の皆さんの生活環境の整備などを目的に、国土交通省の補助事業「都市再生整備計画事業」の事業申請を行ったところであり、補助の決定を受けた後、平成25年度から4年をかけた事業を実施していきます。平成25年度は、原町中心部に整備予定のポケットパークの設計や、町商工会のふさと自慢館整備事業への補助などを計画しています。

定 住の促進では、平成25年度から新たに定住促進助

成事業を実施することにししました。この助成事業で、町内の若者や、町に定住しようとする方の住宅新築や購入への補助、また住宅団地土地購入費への一部補助を行い、若者の流出に歯止めをかけるとともに、Uターン、Iターンの拡大を図ります。

観 光の振興と交流人口の拡大では、地域活性化の重要施策と位置付け、専門家から引き続き指導を受けながら観光振興の推進を図っていきます。

また、西会津元気グリーンツーリズム協議会では今年度、体験プログラムの構築や農家民泊の推進、さらに4回のモニターツアーを開催しました。協議会では、首都圏などからの誘客や、

受け入れ体制の整備といった内容充実に取り組むことから、町では、交流人口の拡大に向け積極的に支援していきます。

沖縄県大宜味村や宮古島市、横浜市鶴見区などとの交流については、現在、物産の交流を中心に行っていますが、人の交流に向けた取り組みを推進していくほか、物産などの販売、流通に係るシステムの確立に向け、モデル事業に取り組んでいきます。

地 域おこしでは、活力ある地域づくり支援事業を引き続き実施し、地域の活性化に向け、持続可能な事業に自主的に取り組む団体や、町民の皆さんを積極的に応援していきます。

また現在、大学生の力を活用した集落復興支援事業で、新郷富士地区の調査支援を行っています。平成25年度は奥川梨平地区を調査対象に広げ、地域の活性化を図っていきます。

さらに、「地域おこし協力隊」の配置を計画し、定住や交流促進の事業に、都市部の若い力と行動力、新たな感覚を取り入れ、町の活性化につなげていく考えです。このほか、これまで整備してきたケーブルテレビ網の活用、廃校などを生かした地域振興にも取り組んでいきます。



▲西会津元気グリーンツーリズム協議会が行ったモニターツアーで農業を体験する町外の子どもたち



人と自然にやさしいまちづくり
—健康づくりと安全安心

健

康づくりでは、引き続き「健康がいちばん！」をキャッチフレーズに、食と運動と健診を相互に連携し、町民の皆さんの健康寿命の延伸を図っていく考えです。

具体的には、家庭で健全な食生活が実践できるよう普及活動を推進するとともに、町民一人一運動を推進し、運動の習慣化を図ります。また健診での早期発見・治療によって生活習慣病の重症化を予防し、医療費の削減につなげます。平成25年度は、町民の皆さんの健康意識高揚のため、健康手帳、がん手帳を配布することにしました。

医

療においては、在宅医療体制充実のほか、本年5月に開院予定の県立医科大学・会津医療センターと連携し、地域医療体制の充実・強化に努めます。

高

齢者福祉では、高齢者の皆さんが住み慣れた家庭で安心して生活できるよう、介護予防をはじめ、在宅福祉サービス事業の充実を図るとともに、認知症サポーターの養成、地域ネットワーク構築の支援に

より地域ぐるみでの支援体制を強化していきます。

また、第5期介護保険事業計画に基づき、地域密着型等施設の整備を行い、介護サービスの質・量の充実と介護保険事業の安定運営を図ります。

デ

マンドバスの運行では、現在の平日5便の運行に2便増やし、利便性の向上を図るとともに、6月の大山まつり開催中には臨時バスを運行し、観光客の増加を図ります。また、当日の予約について、現在の2時間前までから、1時間前まで受け付けることとし、多くの皆さんが利用できるよう改善を図ります。

道

路網の整備は、幹線の町道については西会津町縦貫道路の整備を引き続き進め、また、下野尻端村線の改良舗装が平成25年度で完成するよう取り組んでいきます。

幹線以外の町道では、漆窪線、下條線の工事を引き続き実施し、寺ノ上線の用地測量、新たに真ヶ沢3号線の地形測量を行うほか、明神橋の耐震補強工事を行っていきます。

また、国・県道の整備促進について関係機関に積極的に働き掛けていきます。

水

道施設の整備では、施設の改修を計画的に進めるとともに、青坂地区飲料水供給施設の給水区域を甲石地区まで拡張するなど、水道未普及地区の解消に努めていきます。

下水道は、特定環境保全公共下水道・野沢処理区および個別排水処理施設の整備を進めていきます。

再

生可能エネルギーの導入では、普及を積極的に進めることを目的に、平成25年度から町再生可能エネルギー設備等設置事業を実施し、個人住宅のほか、事業所や農業施設等への太陽光発電、太陽熱利用、小水力発電、風力発電、雪氷熱利用、バイオマス燃料ストーブ設置など、広範囲に活用できる補助制度により普及を促進していきます。

また、防災拠点になるさゆり公園体育館、新築する西会津小学校への太陽光発電施設および蓄電池の導入を進めていきます。

以上の事業について、実施可能なものから順次、効率的・効果的に実施し、まちづくりの基本理念「みんなの声が響くまち・にしあいづ」の実現に向け、全力で取り組んでいきます。



平成25年度

町政方針



特集

時を経て、今よみがえる 橋屋遺跡発掘調査から

貴重な発見から 祖先の足跡をたどる

私たちの祖先が、その時代をどのように暮らしてきたのか、埋蔵文化財は、それを知る手掛かりになる貴重な資料です。

数千年もの間、土の中で眠ったままだった建物などの跡（遺構）、また、生活道具や装飾品といった出土品（遺物）は、開発によって無くなってしまおうと、歴史、文化の成り立ちを理解することができなくなりました。このため、工事などを行う前に埋蔵文化財の調査が行われています。

今月は、町道・野沢柴崎線の改築工事に伴い行った橋屋遺跡発掘調査の貴重な発見から祖先の足跡をたどります。

調査の概要・経過

橋屋遺跡発掘調査は、西会津町縦貫道路となる町道・野沢柴崎線の新しい路線が橋屋遺跡を横断するため、開発によって遺跡が壊されてしまうことから遺跡の記録・保存を目的に実施しました。

まず、調査保存する区域を決めるため、平成23年11月に部分的な確認（試掘）調査を行い、県文化財課の指導を受け、本調査を行う計800平方メートルの2区画を決定しました。そして、現地での本調査を昨年6月から8月末まで行い、その後、本年3月まで出土品の整理、調査報告書作成などの作業を行ってきました。





大発見の 舞台裏

調査手順・方法

調査は、次の作業工程で行いました。

①発掘場所を測量して確定し、バックホーなどの重機で慎重に表面の土を取り除きます。

②昔の建物や工作物などの跡である遺構や、土器などの遺物が出る土層になったら写真を撮り、図面を書きながら手作業で掘り進めます。

③土器などの遺物は、一つ一つ記録をとりながらコンテナに入れ、整理する場所に運びます。その後、遺物を洗浄し、元の土器の形に復元できそうなものは組み立て復元します。

④遺物は、必要に応じて成分、年代を調べる科学分析を行います。

⑤遺構については、それぞれ写真を撮り、位置や形状を正確に図面に記録します。

なお、遺物や遺構の時代、年代の特定には、地層の地質からの推定、住居や墓などの形、また、土器の形や模様の特徴、さらに科学分析といった方法が用

いられます。

町の阿賀川の北側にある遺跡では、今回が初めての調査となり、調査によって橋屋遺跡は、縄文中期・後期・晩期、平安時代の各期に営まれた集落跡で、縄文後期の集落構成、土坑の配置、また阿賀川の河岸段丘との関係などを解明できたことは大きな成果でした。

住居跡、墓跡 見つかる

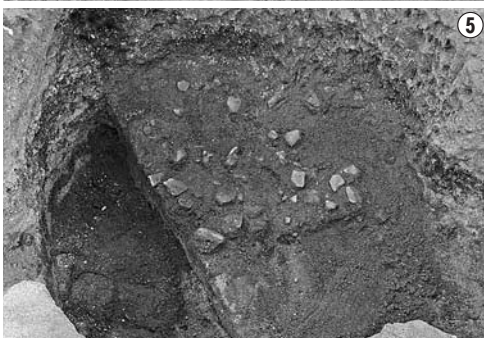
調査結果 その1

今回の調査の結果、写真が示すとおり予想以上の遺構、遺物が出土しました。

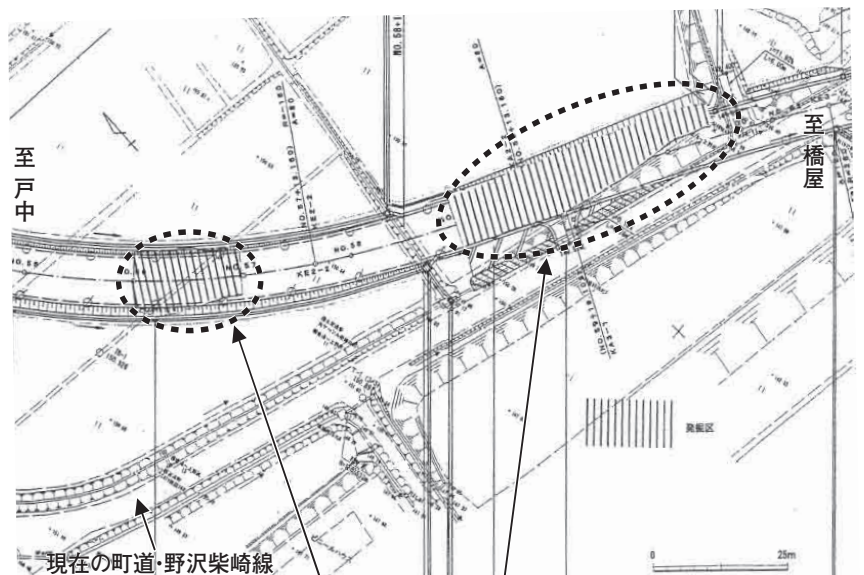
確認された遺構は、縄文時代の住居跡が5軒、平安時代のもの5軒で、その時代に集落があり生活が営まれていたことが判明しました。

また、道路幅のわずかな調査範囲の中に密集した約115基の土坑が確認されました。

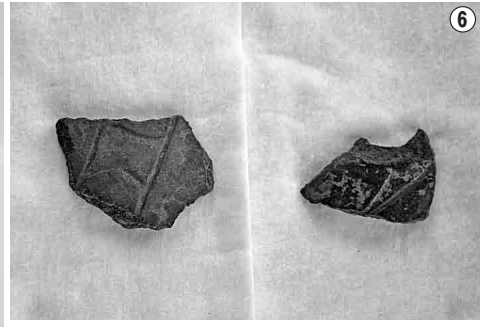
さらに、これまで見つかった例がない縄文後期中葉から縄文晩期初頭にかけての土坑墓が集中して確認されました。



本調査位置図



①④⑤多数の土器や石器などが副葬された土坑墓／②遺物の分類作業／③住居跡や土坑など



⑥所々に赤色の塗膜が付く朱彩土器片
 ⑦土坑から多数見つかったベンガラ塊
 ⑧出土した土器片を組み立て接合した縄文後期の注口土器

用語解説

縄文時代：約15,000年前から3,000年前までの稲作開始の弥生時代前までをいう。草創期・早期・前期・中期・後期・晩期の6期に分けられる。

土坑・土坑墓：遺構の中で一定の大きさを持った掘り込みのこと。墓、貯蔵穴などがあり、墓の場合は土坑墓という。

石鏃：矢じりのこと。

朱彩土器：ベンガラ、水銀朱、漆などにより着色された土器。

ベンガラ：土から取れる成分(酸化鉄)で最古の顔料とされる。

須恵器・土師器：どちらも古墳時代から平安時代にかけて使用された土器で須恵器は高温の窯で焼くため固く、土師器は野焼きで比較的軟らかいのが特徴。

鉄滓：鉄を製造するときに発生する高温で溶けた不純物のこと。

土坑墓からは、縄文後期中葉から後葉の縄文土器が出土しました。これらの土器は、会津地方での出土例が少なく、縄文後期中葉から縄文晩期初頭の重要な資料になります。石器は、少ない出土でしたが、石鏃をはじめ、打製石斧、磨製石斧、砥石などが見つかりました。

この中で、石鏃の茎部に天然のアスファルトが付着している大変貴重なものが出土しました。また、縄文後期の注口朱彩土器片1点にもアスファルトの付着が確認され、注口の補修に使用したものと考えられています。この石鏃と朱彩土器のアスファルトの成分は異なっており、別々の産地である可能性が高く、今後、ほかの地域の資料と比較し場所の特定ができれば、その時代に広域の物流があったことが証明されることになります。さらに、貴重な朱彩土器も4点出土しました。

貴重な数々の発見

調査結果 その2

▶今回の調査で出土した土器片の一部



常、ベンガラだけでは塊にならないため、ほかの物質を加え団子にした可能性があり、今後の詳しい分析が課題になります。

一方、平安時代のものとして住居跡が5軒確認されていますが、遺物として須恵器や土師器が出土し、出土した須恵器の杯の底には「罌本」と墨で書かれ、町内では上ノ台遺跡に次いで2例目となる墨書土器の発見となりました。

このほか、町で初めてとなる精錬滓と思われる鉄滓も見つかり、今後、どこから持ち込まれたのかなど、調査が必要になります。

橋屋遺跡の調査は、今回が初めてでしたが、このような多数の遺構、遺物から、この地域は、豊かで高い文化を持っていたことを示す結果が得られました。

遺跡、出土品の価値を いかに発信できるか

今回の橋屋遺跡をはじめ、町の多くの遺跡発掘にかかわり、西会津町の考古学に詳しい上小島の佐藤光義さんに話を伺いました。

橋

屋遺跡の調査には、平成23年11月の試掘調査から、本調査まで一貫してかかわってきました。

昨年の本調査は、大変暑い中での作業でしたが、丁寧な調査によって予想を上回る遺構、遺物が出土しています。調査にあたっては県文化財課をはじめ、県立博物館、東京大学総合研究博物館、新潟県津南町教育委員

会、木本元治氏(福島市)、長尾修氏(会津若松市)、田崎敬修氏(芝草)など多くの方から指導・助言・協力をいただきました。

私はこれまで、昭和48年の尾野本条里遺跡からかわり、上小島A・C、上ノ台、上野尻、小屋田遺跡など多くの遺跡を見てきました。

ご存じのとおり発掘には、多くの時間や費用が掛かります。しかし、遺構、遺物などからは、その時代の食や生活、文化、さらに経済といった背景、特徴を読み取ることができると奥深さがあります。

西会津町では明治以降、優れた多くの人材を輩出してきましたが、今回の調査では、それ以

前の時代にも素晴らしい高い文化が存在したことが明らかになっています。

また過去の調査から、西会津町で東北、関東、北陸地方の文化が融合し、西会津独特の縄文土器が作られ、使用されていることが分かっています。こうしたことから、わが町は、交流や物流によって栄え、豊かな地域であったと考えられます。

今回の本調査では、土坑墓が西会津町で初めて確認され、その時代に葬送儀礼があったことがうかがえました。

また、ベンガラが見つかったことは非常に珍しいことで、これから東京大学の吉田邦夫特招研究員より指導を受け、成分分析などにより、どこで作られたものかなど学術的に明確にされるものと期待されます。

私は、幼いころ先輩に連れられ、地元、上小島遺跡で石器や土器を見つけたことをきっかけに考古学にのめり込み、高校時代、専門の鈴木啓先生から指導を受け、学んできました。

西会津町には、縄文中期の王冠型土器(下写真)をはじめ、ほかの地域には無い極めてまれで、貴重な出土品が数多くあり、これらは、重要文化財の指定も夢ではないと思います。



▶縄文中期の王冠型土器
昭和44年 小屋田遺跡より出土

また、出土品を見たり、土器を作ったりするため、首都圏や北陸地方などから来町するグループもあります。

「遺跡は開発の妨げ・やっかいなもの」とされる時代もありましたが、遺跡や出土品の価値、魅力を地域の誇りとして共有し、地域づくり、町おこしに生かす発想が大切であると思います。西会津町の遺跡の価値をいかに発信することができるか、町の遺跡や出土品は、それだけの資源になる大きな可能性を秘めています。

最後に橋屋・戸中自治区をはじめ関係者の皆さんにあらためて感謝を申し上げます。



橋屋遺跡発掘調査・発掘担当

佐藤 光義さん [上小島]

日本考古学協会会員
元福島県文化財保護指導委員

INTERVIEW

3月 町議会 定例会報告

3月町議会定例会は、8日から21日までの14日間を会期に開かれ、条例の制定や改正、平成24年度の補正予算、平成25年度予算など議案42件について審議され、いずれも原案のとおり可決されました。本号では、町政の主要事項報告の内容と可決された議案についてお知らせします。

町政の主要事項 報告から

豪雪対策本部の設置

1月26日に、野沢・原町観測所の積雪量が、豪雪対策本部の設置基準150センチメートルに達しました。

このため町では、翌27日に豪雪対策本部を設置し、関係機関・団体と連携し、町民生活に支障を来たさないよう、交通の確保をはじめ、除排雪による事故防止、火災予防、交通事故防止などに努めてきたところです。

2月14日には、会津管内の市町村で構成する会津総合開発協議会で、国土交通省や総務省などに對し、除雪費の財政支援などの緊急要望活動を行いました。また、翌15日には、西会津町、喜多方市、北塩原村で構成する

会津総合開発協議会・喜多方地方部会で、国土交通省、総務省などに対して、さらに、2月26日には、町独自で福島県に対し、緊急要望を行いました。

高齢者世帯等に対する 除排雪費用の助成

町では、豪雪対策本部の設置に基づき、自力で除排雪することが困難な低所得の高齢者世帯などに対し、除排雪費の一部8千円を助成することとしました。今後、申請に基づいて助成金の支払いを行っていきます。

西会津小学校 新校舎の整備事業

来年度からの校舎新築工事に向け、今年度は、用地の取得、敷地造成工事、実施設計を行ってきました。造成工事は昨年12月末で完了し、また、実施設計業務については、3月中旬に完了する見通しです。

携帯電話エリア整備

今年度は、弥平四郎・弥生の2地区で携帯電話を使用できるよう整備を行ってきました。工事は順調に進み、計画どおり年度内に完成する見通しです。

この工事完成により、町の通話可能エリア世帯カバー率は、97.6パーセントになる見込みです。

集落支援員の活動

集落支援員を昨年5月から2名体制とし、特に高齢化率の高い弥平四郎、弥生、大舟沢、荒木の4自治区を中心に、見守りと支援活動を実施してきたほか、出戸、中ノ沢、小屋地区などの集落活性化に向けた活動などにも積極的にいかかり支援を行っています。

また、昨年10月からは、週1回、新郷連絡所での相談業務を開始しました。

今後は新郷地区に対する支援の在り方について検討していく考えです。

旧奥川小学校の改修

この旧奥川小の改修は、国土交通省の補助事業「集落活性化推進事業」に応募したところ、事業の内定を受けたため、9月町議会定例会で補正予算を計上したところです。

その時点では、今年度中の完成を見込んでいましたが、国の補助金交付決定が11月21日となり、その後、実施設計業務を開始したため、工事の発注作業が大幅に遅れ、3月4日に業者と工事請負契約を結んだところで、改修工事の工期は本年7月末までとなります。

このため、旧奥川小への奥川支所の機能移転作業については、工程を見ながら時期を決定する考えです。





地域密着型サービス等 事業者の公募結果

昨年12月13日、18日に公募事業者選定委員会を開催し、事業実績などから、認知症高齢者共同生活介護グループホームおよび小規模多機能型居宅介護施設の整備は、喜多方市の社会福祉法人啓和会を、また、特定施設入居者生活介護、介護付き有料老人ホームは、会津若松市の有限会社なごやかを選定しました。いずれの事業者とも、平成25年度に施設を整備し、平成26年4月ごろからサービスを開始する見込みです。

診療所の医療体制

昨年11月から医師4名による新たな医療体制とし、西会津診療所では午後の診察開始を午後3時30分から午後2時に早め、さらに午後3時30分からは医師2名体制で診察を行っています。このほか、在宅患者への医療サービスの強化、休日夜間に急患を西会津診療所で受け入れるなど、地域医療の充実を図りました。

商業団地

A区画整備の検討状況

町では、道の駅よりつせと商業団地A区画を組み合わせ、地

域経済の活性化を図るため、商業団地A区画活用方針検討委員会を組織し、整備方針などを協議してきました。この結果、整備方針は、個別分譲方式からテナント方式に、活用方針は、道の駅よりつせを核に、統一感ある商業団地を目指し、また来たくなるような店舗づくり、野沢の街中に誘客できる施設とする方針に決まりました。

これを踏まえ、町では昨年度、商業団地A区画整備検討委員会を組織し、建物の外観やレイアウトを中心に施設の検討を重ね、現在は、基本計画策定に向け、同委員会の委員に商工会や飲食店、農産物加工グループのメンバーを加え、ワークショップを組織し意見集約を行っています。

町では、今年度内に基本計画を策定し、来年度は実施設計や運営形態などの検討、入居業種の選定などを進め、平成26年度には施設整備に取り組み考えです。

平成23年7月

新潟・福島豪雨の災害復旧

今年度の事業が完成し、すべての災害復旧工事が完了しました。また家屋が浸水した徳沢と橋屋地区では、昨年、県による堤防設置工事が始まりました。徳沢地区は年度内に、橋屋地区は来年度に完成する予定です。

可決された議案

- ◆町議会基本条例の制定―議会運営等の基本事項などを定めるもの
- ◆町乳幼児家庭子育て応援金支給条例の制定―2歳まで家庭で育児をする保護者のうち、育児休業給付金を受けられない方に応援金を支給するもの
- ◆町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定、町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定―地域主権改革一括法施行による介護保険法改正に伴う
- ◆町下水道の構造の技術上の基準及び終末処理場の維持管理に関する条例の制定―同一括法施行による下水道法改正に伴う
- ◆町営住宅等の整備基準を定める条例の制定―同一括法施行による公営住宅法改正に伴う
- ◆町道の構造の技術的基準を定める条例の制定、町道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定―同一括法施行による道路法改正に伴う
- ◆西会津高等学校生徒支援修学資金貸与条例の制定―新規支援資金貸与として大学等に進学する生徒に対し、修学資金を貸与するため制定
- ◆町トータルケア修学資金貸与条例の一部改正―西会津高等学校生徒支援修学資金貸与条例制定に伴う重複要件の削除等
- ◆町結婚祝金支給条例の一部改正―家賃補助対象を民間賃貸住宅まで拡充するための改正
- ◆災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正―支給対象の遺族に同居の兄弟姉妹を加えるなどの改正
- ◆町国民健康保険条例の一部改正―国民健康保険給付費支払準備基金の保有額の条項改正
- ◆町個別排水処理施設条例の一部改正―対象家屋に新たに公衆便所を追加するための改正
- ◆町営住宅条例の一部改正―地域主権改革一括法施行による公営住宅法改正に伴う
- ◆町定住促進住宅条例の一部改正―旧教職員宿舎1棟を定住促進住宅にするための改正
- ◆平成24年度各会計補正予算
- ◆平成25年度各会計予算
- ◆町道の路線変更―森野4号線
- ◆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更―尾野本辺地計画に上谷地区の携帯電話エリア整備事業を追加
- ◆人権擁護委員候補者の推せん―本年6月30日任期満了の1名について田崎映子さんを推せん

経営所得安定対策(旧戸別所得補償制度)を活用しましょう!

意欲ある農業者支援による国内農業の再生を目的とした旧農業者戸別所得補償制度は「経営所得安定対策」に名称変更され、今年度は引き続き、これまでと同じ内容で実施されます。制度の概要は以下のとおりです。対象農家の皆さん、今年度も積極的に、この経営所得安定対策の制度を活用ください。なお、来年度以降の制度内容は今後検討されます。【問い合わせ先】農林振興課・農政係 ☎45-4531

経営所得安定対策



◆主食用米 【米の直接支払交付金】 15,000円/10アール + 【米価変動補填交付金】 米価が大きく下落した場合の交付金

※生産調整の達成と水稲共済への加入、または24年産米の販売実績が必要です。
※主食用作付面積から、自家消費分などとして10アールを控除した面積が交付金の対象です。

◆主食用米以外

※水田で畑作物を生産した場合、①と②両方の直接支払交付金の対象になります。
※畑でソバなどの畑作物を生産した場合、①の直接支払交付金の対象になります。
※交付金の対象となるには、作物の収穫と出荷販売が原則となります。

① 畑作物(ソバ、麦、大豆、なたねなど)の直接支払交付金

◆数量払 ※出荷販売数量に応じて交付されます。
ソバの交付金単価表(単位:円/45kg)

品質区分(等級)	1等	2等	3等	等外・未検査
交付単価	16,870	16,160	15,360	12,150

◆面積払(営農継続支払)

20,000円/10アール

※前年の販売数量を地域単収で換算し、その面積に応じて数量払の内金として先に交付されます。
前年の販売実績がない方は対象外です。

② 水田活用の直接支払交付金

◆戦略作物助成(単位:円/10アール)

対象作物	単価
ソバ、加工用米、なたね	20,000
飼料作物、大豆、麦	35,000
飼料用米、WC5用稲、米粉用米	80,000

◆産地資金(西会津町独自の助成)

●ソバ大規模取組助成

(40アール以上の団地化が対象で、畑作も助成)
25,000円/10アール(予定)

●ミネラル野菜振興助成

30,000円/10アール(予定)

●その他一般野菜等振興助成

20,000円/10アール(予定)

●景観形成・地力増進作物助成

8,000円/10アール(予定)

●加工用米助成(生産性向上等の取り組みが対象)

28,000円/10アール(予定)

●備蓄米助成

19,000円/10アール(予定)

◆その他加算措置等

【規模拡大交付金】農地利用集積円滑化団体が間に入り、新たに農地の面的集積を行い、6年以上の利用権を設定した面積が対象
1回限り 20,000円/10アール

【再生利用交付金】耕作放棄地等を畑に転換し、ソバ等を作付けした面積が対象(最長5年間交付)

平地 20,000円/10アール

条件不利地 30,000円/10アール

【集落営農の法人化支援】集落営農組織が法人化した場合が対象
定額40万円

平成24年度の「農業者戸別所得補償制度」実績

- 加入者数 595人(加入率87.1%)
- 米の所得補償交付金額 85,639,500円
- 水田活用の所得補償交付金額 6,747,000円
- 産地資金交付金額 4,230,400円
- 畑作物(ソバ)の所得補償交付金額 12,888,850円
- 規模拡大加算交付金額 1,542,000円

合計 111,047,750円
(加入者1人当たり平均 186,634円)

J A委託を活用した経営例

水田経営面積100アール
転作面積なし(実転作なし)
単収500kg/10アールの農家が、生産調整が必要な数量を購入するJ A委託を利用する場合

- 主食用米作付面積 100アール
- 配分面積 60.3アール
- 生産調整が必要な面積 39.7アール
(生産調整が必要な数量 1,985kg)
- J A委託料(単価30円/kgとして) 59,550円

●米の直接支払交付金額 135,000円
米の直接支払交付金額とJ A委託料との差額 75,450円が実質手元に残り経営安定のための資金になります。



小学校一日体験入学で、一年生が新入学児の皆さんを元気よくお出迎え

ぼくたち わたしたち 新一年生

松 森 西 堀 芝 10 9 9 7 5 自治 新
尾 野 原 越 草 町内 町内 町内 町内 町内 学区 入学
杉 渡 猪 結 千 伊 齋 齋 相 佐 小 物 武 二 藤 岩 渡 折 氏 学
原 部 俣 城 葉 藤 藤 藤 原 藤 林 江 藤 木 田 原 遣 笠 名 童
羽 瑠 佳 陸 柚 夕 咲 光 静 竜 芽 花 香 蒼 悠 茉 遥 3
空 威 奈 央 妃 藍 花 峰 空 介 生 奈 絵 太 都 佑 柊 南 月 22
く さ く さ さ さ さ さ く さ さ さ く く さ く 日 現 在
ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん 日

戸 橋 宝 下 上 山 黒 上 西 松
中 屋 川 野 尻 野 口 沢 小 島 林 尾
小 秋 佐 長 橋 橋 塚 佐 佐 齋 安 渡 小 大 長 国 伊 長 鈴
柴 田 藤 川 谷 谷 本 原 藤 藤 藤 部 部 柴 賀 川 分 藤 谷 川 木
大 莉 慎 真 真 美 美 美 奈 優 和 櫻 彩 美 夢 海 竜 陽 正
和 奈 悟 衣 緒 空 月 奈 秀 薫 葉 子 愛 月 樹 輝 矢 大 人 と ま
く さ く さ さ さ さ さ く さ さ さ さ さ く さ く く
ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん ん

4月は入学のシーズン。真新しいランドセルを背負った新一年生が入学します。
今年、小学校に入学するのは、平成18年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた児童37人です。
4月からの新しい学校生活に胸をときめかせながら、入学式を心待ちにしている子どもたちは、2月21日、西会津小学校を訪れ、一日体験入学をしました。

一日体験入学では、西会津小の松本敬之校長が「よくおいでくださいました。学校を見学していつてください」と4月から小学生になる保育所児童を歓迎しました。
新入学児の皆さんが教室に移動すると一年生が元気なあいさつで出迎え、輪投げや釣りなど、一年生が考えたゲームと一緒に遊び交流しました。新入学児の皆さんは、初めは不安な様子でしたが、次第に打ち解け、期待に胸を膨らませていました。





永井利吉さん・トライアングルの会に感謝状

ボランティア活動で長年にわたり社会福祉の増進に尽力した奥川新町の永井利吉さんと、精神保健福祉ボランティア・トライアングルの会（柴田淳子会長）が、県社会福祉協議会感謝状を受け、2月28日、報告のため町役場を訪れました。永井さんは平成15年から町ボランティア活動サポートセンター会長を2期務めたほか、高齢者世帯への弁当配達ボランティアを継続し、トライアングルの会は、精神障がい者を対象に行事やイベントを企画・開催するなど、それぞれ、福祉の模範となる活動に対し贈られました。トライアングルの会は同時に福島民友愛の事業団・福祉活動奨励賞も受賞しました。

若い皆さんが活動報告

若者の皆さんが集まり町の魅力や課題を見つけ、町活性化のための計画づくりなどを行う「若者まちづくりプロジェクト」の活動発表会が2月26日、道の駅よりっせで行われました。

まちづくりプロジェクトでは、立教大学観光学部の清水慎一特任教授からアドバイスを受けながら、昨年9月よりグループでの討論を重ね、さまざまなアイデアを出してきました。発表会では、4つのグループが、それぞれ「町の観光」「特産品」「情報発信」「町内のイベント」について、これまで、まちづくりに向けて検討、実施してきた内容を発表しました。



沖縄・宮古島の食を学ぶ

気候風土が異なる沖縄の食生活を体験して学び、取り組みの活発化などを目的とする食生活改善推進員沖縄研修が2月18日から21日に行われ、町の推進員と若手農業者4名が友好都市の宮古島市を訪問しました。

18日の交流会で町からの参加者は、宮古島市の推進員が島らっきょう、島紫芋などを使って調理した健康メニューで歓迎を受け、西会津町、宮古島市の推進員はそれぞれの活動状況を報告しました。翌19日には調理交流が行われ、双方の推進員はそれぞれ工夫し、考案したメニューを調理・会食し、意見交換をしながら健康づくりの基礎になる「食」の重要性をあらためて学び合いました。

これからの農林業を考える

町では2月17日、ミネラル野菜の生産拡大、さらに、森林資源の利活用促進を目的に、農林業講演会を林業研修センターで開催しました。第1部では「健康な土づくりについて」を演題に、エーザイ生科研㈱の佐藤安幸氏が堆肥の特性や効果、土壌づくりの基本について講演しました。第2部では、退職後に里山を整備し、山菜や、きのこ栽培、さらにカブトムシ飼育に取り組む須賀川市のグループ「里の森みらい」の薄井充良代表が「里の森みらいの誕生と取り組みについて」講演し、約50名が、これからの町の農業と林業について熱心に考え学びました。



運動で介護予防

〜いつまでも自立した生活を〜

介護が必要になる原因は？

厚生労働省の調査によると、介護が必要になった原因の第1位は脳血管疾患になっています。一方、骨や関節、筋肉、神経といった体を支え動かす機能が衰えて起きる「関節疾患」「骨折・転倒」を合わせると21・1%で、第1位の脳血管疾患とほぼ同じ割合になっています。立つ、座る、歩くといった運動機能が低下すると、自立した生活が送れない可能性が高まるのです。

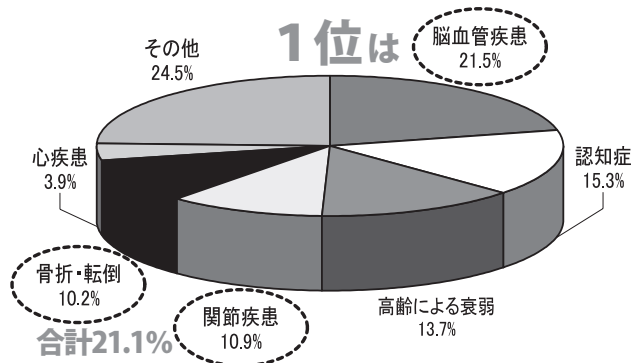
介護予防のために

町では、介護予防が必要な方を把握し、要介護状態への悪化を防ぐため、65歳以上で、介護保険の「要支援」「要介護」に該当しない方を対象に、生活機能アンケートを実施しています。

アンケートの結果から、介護予防の対象者が多い自治区では「元氣応援教室」を開催しています。また、介護予防の必要性が高く、主治医から運動を勧められた方を対象に機能訓練事業を保健センターで実施しています。

介護が必要になる原因

[平成22年国民生活基礎調査]



▲屋敷自治区で開催した元氣応援教室で運動する皆さん

生活に運動を取り入れよう！

立つ、座る、歩くなどの動作には、下半身の筋力が必要です。スクワットや片足立ちといった下半身の筋肉を鍛える体操や、散歩など、運動を毎日の生活に取り入れ、介護予防に取り組みましょう。

【問い合わせ先】

健康支援係 ☎45-4532

いろいろな運動に取り組んでみよう



ラジオ体操



ストレッチ



水中ウォーキング

関節に負担がかからない運動がお勧めです

「機能訓練事業」の内容

【対象】…介護保険の要介護（要支援）に該当しない方で、主治医から運動を勧められた方

【場所】…町保健センター（上野尻）

【時間】…午前9時30分～午後1時30分

【内容】…さまざまな器具を使った自主訓練や、集団運動などを行います。また理学療法士による個別指導、温泉リハビリプールでの運動を行っており、送迎も実施しています。

機能訓練事業・利用者インタビュー



結城 清さん
[真ヶ沢]

以前は、デイケアでリハビリを行っていましたが、体の状態が良くなり、平成13年から保健センターで行われている機能訓練に参加しています。脳卒中も再発せず、筋力を維持でき、主治医から褒められています。腰痛も運動によってか無くなりました。毎日散歩し、休まず機能訓練に通えるよう体調管理にも気を付けています。



武藤 ヒデさん
[八重窪]

1年前から機能訓練に参加しています。主治医から勧められ、今年度からは温泉リハビリプールを利用していきます。普段、お茶を飲みに行くことがなくなつたため、機能訓練に参加し、みんなと顔を合わせ運動することがとても楽しみです。野菜作りも生きがいで、常に体を動かすことが元氣の秘訣です。

生涯学習発表会



子どもたちが華麗に「よさこい踊り」を披露

3月10日、町公民館大ホールにおいて平成24年度生涯学習発表会が開催されました。

発表会には、町内で自主的に生涯学習活動に取り組む9団体が出演し、民舞や太極拳、フラダンスなど、日ごろの活動の成果を披露しました。

出演者からは「緊張したが一年間の練習の成果を皆さんに観てもらえ良かった」「これからも楽しみながら練習していきたい」などの声が聞かれました。

一年間の活動成果を披露 生涯学習発表会

生涯学習発表会を終え

生涯学習発表会実行委員長

生江 克志さん（下野尻）

実行委員会の主催で生涯学習発表会を行うようになって6回目になりました。日ごろから公民館を利用して、生涯学習に励んでいる団体が多くありますが、残念ながら発表会に参加する団体は年々減少する傾向にあります。

しかし、それぞれの団体の皆さんは、練習の成果を発表するこうした場があることで、生き生き活動することができます。今後も多くの町民の皆さんに喜んでいただけるよう頑張っていきたいと思えます。



社交ダンスを披露する生江克志さん

第38回奥川健康マラソン大会 参加者募集

今回大会では、北京オリンピック日本代表の佐藤敦之さん、女子800m日本記録保持者の佐藤美保さんご夫妻がゲストランナーとして参加します。



佐藤 敦之さん
中国電力陸上部
北京オリンピック日本代表



佐藤 美保さん
女子800m
日本記録保持者

- ◆日 時 6月16日（日）
- ◆会 場 旧奥川小学校グラウンド
- ◆参加資格 小学1年生以上で健康な方
※車いすでの参加はできません。参加は1人1種目です。
- ◆参加料 親子 2,000円
小中学生、高校生 1,000円
一 般 2,500円
- ◆申込期限 5月10日（金）
- ◆問合わせ先 大会事務局（町公民館 ☎45-3244）

西小わくわくクラブ閉校式

安全・安心な子どもたちの居場所を提供するとともに、児童の健全育成のため行っている放課後子ども教室「西小わくわくクラブ」の休日活動と閉校式が3月9日、町公民館で行われました。

今回は、ドーナツ、クレープなどの菓子づくりに挑戦しました。

参加した43名の子どもたちは、安全管理員や保護者の皆さんに教わりながら真剣に菓子づくりをしました。

その後、全員で会食しながら、上級生が一年間のこの教室の感想を発表し、平成24年度の活動を終えました。



真剣にクレープをつくる子どもたち



町民バトンタッチ

う た が わ た か し
雅樂川 貴志さん [宝川]

いわはら はやと
岩原 隼さん (3月号から) メッセージ

仕事がんばれ! また一緒に野球しような!!

あなたの趣味は?

野球、ゲーム

特技は?

突っ込み

自分を一言で表現するとしたら?

ムードメーカーかな?

これからやってみたいことは?

早起き野球、それから友達との旅行

熱中していることは?

パソコンゲーム、仕事

最近感動したことは?

仕事中にお客さんから感謝されたこと

あなたのモットーは?

自由

次の方を紹介してください

Y・Sさん (向原)

とっておきの物は?
『高校野球の大会出場写真「額」』
「3年のとき、統合によって喜多方桐桜高校になり、初めての夏の大会で撮ったものです」



町民 ギャラリー

こすもす俳句会

[2月例会]

口紅と帽子を買ふて春を待つ
春めくや一音高き鳥の声
淡色のコートを求め春待てる
房総よりはや届きたる花便り
鉢物を窓辺に並べ春待てる

遠藤せつ子 (喜多方)
斎藤フミ子 (四町内)
高濱 悦子 (八町内)
星 勢津子 (七町内)
斎藤五早男 (上野尻)

聞いて! わたしの夢

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分の想い描いている夢や目標などを話していただいています。

今月は、3年・生徒会書記の渡部魁聖さんです。

わたしの夢——

「僕は将来の夢などをまだ決めていません。今の目標は人に親切にすることです。それは将来、職に就いたとき、親切にすることが必要になってくるので心掛けるようにしています。

また、職業を選ぶとしたら、自分が楽しい仕事ではなく、ほかの人を助け、支えになるような仕事をしたいと思っています」



努力していること——

「普段から友達に親切にするよう心掛けています。中学生なのでボランティアなどはしていませんが、友人の手助けや、卓球部の部長として後輩を助けるようにしています」

最後に未来の自分に一言——

「こつこつ目標に向かって成長し、人の助けになるようなことを続けていってください」

まちの人口 ～3月1日現在～ (前月比)

人口	7,442人	(-11人)
男	3,584人	(-8人)
女	3,858人	(-3人)
世帯	2,801世帯	(+3世帯)

戸籍の窓口 ～2月受付分～ 〈敬称略〉

お誕生おめでとう

須藤 彩 絵ちゃん 貴司・佳子 芝 草
 鈴木 茉 結ちゃん 寿宏・徹子 松 尾



ご結婚おめでとう

渡部 元基 松尾
 齋藤 麻衣 会津美里町



お悔やみ申し上げます

三留 鬼一 (71) 孝	父	1町内
長谷川 英夫 (65) 美枝子	夫	芝草
長谷川 三四郎 (74) 正明	父	安座
齋藤 光雄 (91) マサノ	夫	尾登
清野 友衛 (83) 幸三	父	西林
成田 光子 (87) 和夫	母	上野尻
松崎 トシ (105) 好延	母	上野尻
藤原 喜代次 (80) ミサヲ	夫	下野尻
武藤 求 (54) 由美子	夫	柴崎



町指定金融機関が変わりました

4月1日より町の公金の収納、支払いを取り扱う指定金融機関が「会津いいで農業協同組合」から「会津信用金庫」に変わりました。

また、会津いいで農業協同組合、会津商工信用組合、東邦銀行が収納代理金融機関として公金の収納を取り扱います。

なお、この変更に伴う町民の皆さんの手続きは必要ありませんので、今までどおりご利用ください。



有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】

企画情報課・広報広聴係 ☎45-4536

お知らせ

全国瞬時警報システム^{ジェイ・アラート} [J-ALERT] 運用開始

町では、国からの緊急情報を瞬時に町民の皆さんに伝達するため、4月1日から『全国瞬時警報システム(通称:J-ALERT)^{ジェイ・アラート}』の運用を開始しました。

このシステムは、一刻を争う弾道ミサイル情報をはじめ、津波情報、緊急地震速報など、対処に時間的余裕がない事態に関する情報を、人工衛星を使って国が送信し、町の防災行政無線で町民の皆さんに瞬時にお伝えするものです。

放送は、サイレンやチャイムなどの警報音の後、音声で流れます。

主な放送の内容は、弾道ミサイル発射、ゲリラ攻撃、大規模テロなどの情報のほか、津波、地震などの気象情報です。

百歳賀寿

3月3日、上野尻の五十嵐ハルさんが満100歳を迎え賀寿贈呈式が行われました。

贈呈式では、県会津保健福祉事務所の飯野日佐子健康福祉部長、伊藤町長、町老人クラブ連合会の渡部雅二郎会長から五十嵐さんに賀寿と祝い金や記念品が贈られました。

五十嵐さんが100歳になり、町の100歳以上の方が12人になりました。

町ケーブルテレビ 福島県広報コンクールで入選



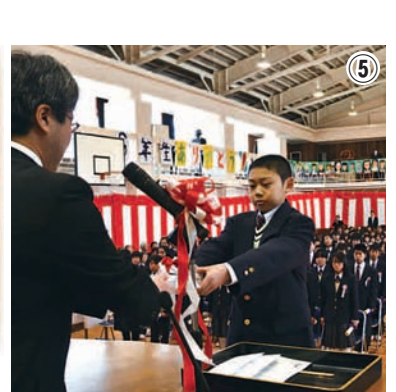
県内自治体の広報活動の向上を目的とする第58回福島県市町村広報コンクール・映像部門で町ケーブルテレビが入選しました。

入選した番組は「暮らしの法律相談・催眠商法の被害にあわないために」で、県司法書士会、町社会福祉協議会の協力で制作したものです。高齢化が進み、また法律に関する相談が増える中、被害にあわない方法を分かりやすく伝えていることなどが評価され受賞しました。

祝 卒業

3月13日に西会津中で、22日には西会津小で卒業式が行われました。西会津中では、佐久間雄彦校長が「精いっぱい努力し、自分らしく生きてほしい」と卒業生にエールを送り、築田智史さんが答辞で「感謝の気持ちを忘れず、自分の人生を歩んでいきます」と誓いました。西会津小では卒業生が在校生との「呼びかけ」に臨みました。式の後、卒業生は在校生や先生に温かく見送られました。

こゆりちゃん トピックス



①卒業生を代表し答辞を述べる築田智史さん(西会津中)／②③校歌、式歌の斉唱(同)／④式終了後、退場する前に涙ぐむ卒業生(同)／⑤卒業記念品を受け取る若林龍星さん(西会津小)／⑥⑦在校生への別れの言葉(同)／⑧涙をこらえ退場する卒業生(同)

今月の表紙

統合後、初めてとなる西会津小学校の卒業式が3月22日、同校で行われ、江川遥人さんが松本敬之初代校長から第1号の卒業証書を受け取りました。

松本校長は「新生西会津小を常にリードしてくれた皆さん、我慢強い努力を忘れないでください」と卒業生にはなむけの言葉を贈りました。1期生57人は、たくさんの思い出を胸に、慣れ親しんだ学びやに別れを告げました。



広報にしあいづ
2013 (平成25年)

4月号

発行：西会津町 編集：企画情報課
☎0241-45-2211 (代表)
info@town.nishiaizu.fukushima.jp
http://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/



この広報紙は、環境に優しい大豆油インキを使用しています。